

紫西会報

第 48 号

発行所
茨城県筑西市中山590
茨城県立下館第一高等学校
紫西同窓会
TEL (0296) 24-6344(代)
FAX (0296) 25-4673
編集兼発行責任者
大 吉 悟
印刷所 戸 頃 印刷 所

創立百周年に向けて

紫西同窓会長 林 廣 明
(第四十一回卒)



紫西同窓会会員の皆様には、日頃より同窓会の運営及び事業にご協力を頂きまして、誠にありがとうございました。

私が、同窓会会長にご推挙頂きまして、はや三年が過ぎました。

その間、会員の皆様のご支援によりまして大過なく会長職を務めることができました。こと心より感謝致します。

さて、五年後の二〇二三年に、下館一高は創立一〇〇周年を迎えますが、下館一高一

〇〇周年記念事業の一環であります記念誌編集委員会が昨年発足し、原篤範同窓会監事が資料収集委員長に選任されました。現在、同委員会は資料収集に努めており、会員の皆様は資料収集に協力して下さるようお願い致します。

と云うことで、平成二九年三月、下館一高で大きな出来事がありました。既に会員の皆様もご存じかと思いますが、それは、稲見校長と先生方が下館一高で六六年間にわたり、九〇歳までパンや飲み物を販売する購買部を運営していた名物おばあちゃん「山中艶子さん」の引退を、各新聞社に紹介したのです。

すると、おばあちゃんは、NHKの茨城ニュースでテレビ放映され、朝日、茨城、毎日の各紙、そして、雑誌女性セブンでも大きく紹介されたのです。

同年三月二日には、下館一高においておばあちゃんに對しまして「お礼の会」が開かれ、生徒から感謝の手紙や花束が贈られました。購買部を利用してきた生徒や先生からは、引退を惜しむ声があふれていたそうです。おばあちゃんは一躍、時の人となったのです。

おばあちゃんの一連の報道は、各方面に大きな反響を呼び、特に多くの会員の皆さん、なかには海外の会員からも稲見校長に問い合わせがあったそうです。

会員の皆さんは、おばあちゃんの報道に接し、自分達が下館一高で学んだ三年間、そしておばあちゃんの売店で食べたコロッケやパンの味が、眠っていた記憶を呼び戻してくれたのだと思います。

また、今般の報道を契機に下館一高と同窓会会員とが、より強い結びつきを築くことが出来るように、同窓会として努力しなければならぬことを痛感させられました。

私事ですが、私は七〇歳になった昨年、私が経営する事務所に大きな看板広告を設置しました。「八〇歳まで現役で頑張るぞ」と、私自身と地域の皆さんに私の意気込みを示したかったです。しかし、おばあちゃんが九〇歳まで現役を続けたのは、ご家族の協力と先生方のご理解とともに、生徒の皆さんに立っているとのおばあちゃんの満足感が大きな心の支えになったと思います。

働けることの喜びに感謝し、仕事を続けたおばあちゃんの仕事方は、生徒の皆さんにとって、素晴らしい人生の教訓となり、いつまでも忘れられない想い出となるでしょう。



新任の先生よりメッセージ

母校に戻って

太田 一也
(第五十九回卒)



昭和五十八年三月、本校を卒業し、教員として三四年ぶりに母校に戻ってこられたことに、

「館一」への不思議な縁を感じます。

その第一印象は、「変わらないな」でした。

特に校舎は(外壁は綺麗に塗られていましたが・・・)高校時代を過ごしたままでした。

三年八組の生徒として、先生方と共用し、当時清掃当番場所でもあったトイレを、教員の立場で使用する何とも言えない不思議な感覚、今は多目的室となった旧三の八教室。

紫西会報
見るものすべてが当時の仲間たちと楽しく過ごした学校生

活を思い出させてくれます。

そして、久しぶりに聞く校歌。

「筑波の西に・・・」のワンフレーズを聞いた瞬間、思わず涙腺が緩みました。

そして、変わらないと言え

ば、現在の生徒。

先生方に敬意を払って穏やかに接している姿に、当時の自分たちをだぶらせました。とにかく、当時先生方に、よく

言われたのは、「館一は県西で一番だ。」の言葉です。教員として母校に戻った今こそ、

このフレーズを胸に刻み、後輩たちと共に、「館一」の名を世に知らしめていきたいと考えています。

下館一高に赴任して

小沼 賢一



本年度より下館第一高等学校

校に赴任してまいりました。

前任校は、県北の北茨城市にある磯原郷英高等学校になりました。私は新規採用で県西地区の学校に勤務し、その時から、下館一高は伝統校で優秀な学校だなと感じておりました。それから十年後に自分がその高校に勤務するとは、夢にも思っておりませんでした。

前任校へ赴任して間もなく、夏の全国高校野球茨城県予選の初戦で対戦したり、前年度は日立市民球場の球場当番の際に、館一が試合をしたりと、今となっては、その当時から不思議な縁があったのかもしれません。

やっと最近になって、校舎の窓から見える景色が、海ではなく筑波山であることに違和感を覚えなくなってきたところ

です。今後は真面目で素直な館一生の希望が実現できるように、微力ながらサポートして行きたいと思っております。宜しく願ひ致します。

下館一高に赴任して

廣岡 大介

高校とは学力のみならず、部活動や学校行事を通して、仲間と切磋琢磨し、人間力を磨く場所でもあります。県西の伝統校である下館第一高校に赴任してみて、生徒たちがしっかりと勉学に励み、充実した学校行事や課外活動に取り組む、ともに協力し合い学びあっている環境がある学校であると感じました。AC活動・SAC活動・学習合宿などの学習サポート体制が整い、

プリティッシュヒルズ語学合宿・七曜祭・紫西プレカレッジ・カナダ語学研修・クラスマッチ・企業訪問・芸術鑑賞会・合唱コンクールなどの学校行事が盛大に行われ、生徒たちは生き生きと学校生活を送っています。

下館一高生は素直で元気がよく、仲間と和気藹々と過ごす印象を持っています。

私は英語科教員として生徒との授業を毎回楽しんでいますが、優秀な館一高生が自ら学ぶ学習者となるよう、また、将来社会を生き抜く上で必要なコミュニケーション能力を身につけられるよう、支援してゆきたいです。

グローバル化社会への加速が益々進む世の中でありますが、不易流行という考え方を忘れず、館一生とともに成長し、充実した日々を送って生きたいと思っています。今後ともよろしく願ひいたします。

感謝

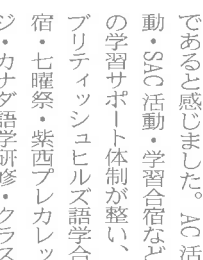
渡邊 恵



「パパ、パパ」と二歳になる娘に呼ばれ、嬉しい反面父親としての責任を強く感じるようになってきました。四月から私は下館一高に赴任することになり、家内も新しい職場で仕事が始まり、娘は保育園に通い始め、家族全員が四月から新しい環境となりバタバタの毎日でした。保育園に通う前は病院とは無縁であった娘が、いきなり発熱や咳など体調を崩し、娘を病院へ連れて行くことが多くなってしまいました。ご迷惑をかけることも多々ありましたが、多くの先生方のサポートもあり、どうか生徒のために任務を遂行することができ、感謝の気持ちで一杯であります。また、毎日の生活で何事もなく平凡に過ごすことができるのは当たり前のことではなく、健康に過ごせることに感謝し有り難いと思う気持ちが大きくなったように感じています。皆さんは、下館一高に当たり前のように毎日登校し、勉強をしたり部活動をしたりしていると思いますが、それは当たり前ではないのです。常に感謝の気持ちを持ち、素直な気持ちで高校生活を過ごして欲しいと思います。

下館一高に赴任して

安達 綾香



学生から教員という立場に変わり、また大学の間離れて

園に通い始め、家族全員が四月から新しい環境となりバタバタの毎日でした。保育園に通う前は病院とは無縁であった娘が、いきなり発熱や咳など体調を崩し、娘を病院へ連れて行くことが多くなってしまいました。ご迷惑をかけることも多々ありましたが、多くの先生方のサポートもあり、どうか生徒のために任務を遂行することができ、感謝の気持ちで一杯であります。また、毎日の生活で何事もなく平凡に過ごすことができるのは当たり前のことではなく、健康に過ごせることに感謝し有り難いと思う気持ちが大きくなったように感じています。皆さんは、下館一高に当たり前のように毎日登校し、勉強をしたり部活動をしたりしていると思いますが、それは当たり前ではないのです。常に感謝の気持ちを持ち、素直な気持ちで高校生活を過ごして欲しいと思います。

下館一高に赴任して



いた実家に戻るといふことで、この一年は私にとって大きな変化の年でした。

まさか地元の進学校である下館一高で働けるとは夢にも思いませんでした。経験もなかったため大きな不安を抱いていましたが、今では生徒のみなさんに会えることを毎日楽しみにしています。まだまだ未熟な部分が多く、試行錯誤の日ですが、素直で何事にも一生懸命な生徒の皆さんの姿をみて、私自身がより勉強していかねければと触発されています。

私が先生になる決意をしたのは部活動や勉強に悩み苦しんだ時に支えてくれた高校の先生の影響でしたが、もう一つ理由があります。それまで「〇〇をやりたい」と思っても、今からでは間に合わないと思うと諦めてしまい、後悔していたことです。この下館一高の生徒のみなさんは特に、様々な可能性を秘めた原石だ

と思います。一人一人がその原石を磨いていくことをサポートしていきたいと考えています。

下館一高にいられることを大変うれしく光栄に思います。今後とも生徒のみなさんの学校生活が充実したものであるよう、お手伝いさせていただきます。よろしくお願いします。

柴山 希一 (第四十八回卒)



入学試験の日、垂れ籠めた雲の下、重厚な佇まいの建物が近づいてくる。それが初めて目にした下館一高であった。

誰かが警視庁に似ていると言いき、刑務所みたいに窓が小さいぞという者もいた。試験は、その旧本館で行われた。教室のコンクリートの壁は冷たく、よく閉まらない窓の隙間からは寒風が吹き込んできた。やがてそれに雪が混ざった。ス

トープの火力が上げられ、試験の途中で眠くなった。初日の試験が終わったとき、すでに本格的な雪になっていた。

バスもタクシーもなくなり、親戚に泊めてもらった。ニューアスで二日目の試験が順延になったことを知った。翌朝、歩いて帰った。靴が膝まで埋まり、容易に進めない。丘の上から見ると、雪原が遠くまで輝いていた。昼頃に家に着いた。

大雪に見舞われた入試。自分だけが苦労したように感じていた部分があった。昨年の同窓会で、私はよりよるかに遠くから受けにきていた友人等の話をいろいろ聞いた。

半世紀を経て、またまた母校のお世話になっている。できれば、長い時間軸の中から大切だと気づかされてきたことも伝えたいと思っている。

下館一高に赴任して

江尻 康毅



本年度9月に赴任しました

江尻康毅と申します。よろしくお願ひいたします。

前職は教員とはまるで縁遠い仕事をしていたので、赴任して三か月がたち、ようやく自分自身が高校の教員であることに少し慣れてきたところです。

講師の働き口を探しているときに、教育委員会の担当の方に「何か条件で希望はありますか」と聞かれたので「場所はどこでも構わないので、教員として勉強になる学校をお願いします。」と言ったところ、紹介されたのが下館一高でした。福島県いわき市出身の私にとって下館一高は全くの未知だったので、どんな学校かと大変不安でしたが、実際に赴任すると、経験豊富な先生方とやる気に満ちた生徒たちが現れたので、なるほど確かに教員として能力を向上させるのに良い学校だと納得しました。

私の好きな言葉に「誠なれ、ただ誠なれ、誠なれ、誠、誠で、誠なれ」という言葉があります。陸軍大将阿南惟幾の言葉で、何に対しても誠心誠意、全力を尽くさないという意味です。この恵まれ

た環境に感謝し、全力尽くして教員としての力を伸ばし、少しでも生徒の皆さんが充実した高校生活を送れるよう、お手伝いできればと思っています。

下館一高に赴任して

飯村 好明



この度の定期人事異動で鬼怒商業高等学校より赴任しました事務室長の飯村好明です。前任校は、本校から独立した学校と伺っており、ご縁を感じております。

また、平成二十七年の水害の際には皆様から暖かいご支援をいただきありがとうございます。

林紫西同窓会長さんをはじめ、各界で活躍する同窓生の皆様には、本校発展のために日頃よりご尽力いただきありがとうございます。本校は、在校生、卒業生の皆様の活躍により高い評価を受けています。さらに、平成三十五年度

に創立百周年を迎えます。

歴史・伝統・実績を備えた本校に勤務する機会を得たことに喜びを感じております。

微力ではありますが本校のますますの発展のために尽くしたいと思っております。よろしくご指導・鞭撻をいたします。

下館一高に赴任して

篠原 捺姫



下館一高に赴任して一年が経とうとしています。この文章を書きながら、もうそんなに経つのかと驚いています。

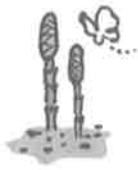
私は高校を卒業して二年ほど経ちます。休み時間に聞こえる楽しそうな声や、先生方から聞く行事の話は、自分が生徒だった頃を思い出し、とても懐かしく感じています。

特に、文化祭は学生時代に実行委員を務めていたこともあり、強く印象に残っています。私の母校である鬼怒商業では、諸々重視の模擬店が多く、全

体的に少し高めの価格設定でした。ですので、初めて館一の文化祭を見た際、安価であるにも関わらずクオリティが高いことに驚きました。

高校時代、部活動に参加していなかったので、思い出の多くは学校行事です。卒業して、社会人になっても友人達とは学校行事の思い出話で盛り上がりです。学校行事で得た経験やその思い出は、将来的にどこかで役に立つ経験にもなります。就職活動の時期を迎えた時、自己PRや志望動機に繋がるかもしれません。私自身、文化祭のエピソードと課外学習で体験したことを元に、茨城県職員の志望動機と自己PRを作り上げました。だから、一つ一つの学校行事を全力で楽しんで後悔の無いようにしてください。

生徒の皆さんと関わることは少ないですが、楽しい学校生活を送れるように日々努力していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



進路指導の現状

進路指導部長 福井 勲
(第五十八回卒)

【平成二十九年入試概況】

今春の一八歳人口が昨年より増加していることもあり、

センター試験志願者は575、967人で、昨年に比べ10.2%と微増でした。科目別の平均点は、英語の筆記が11.1点アップに対し、国語で2.2点の大幅なダウンとなりました。また理科では主に文系生が受験する生物基礎で1.2点アップに対して、主に理系生が受験する化学では前年に続きダウンしました。そのため合計の平均点は、文系が高く理系で低くなる傾向が見られました。全体の志望状況としては、国公立大では景気の回復やセンター試験の理科目目負担増加が敬遠されたためか前年並みでした。一方で私立大では、ネット出願や受験料割引制度の拡大などのためか増加となりました。特に都市部の大規模大学でその傾向は顕著でした。学部系統別志望動向では、社会科学系、工学系、国際系が人気を集め、医

療系の人気が落ち着きが見られました。

国立大では、教育学部のゼ

口免除の廃止、学部新設、入学定員の文系を縮小して理系を拡大する動きがみられました。私立大では、定員超過を抑制するために多くの大規模校で合格者を絞り込み補充合格を多く出す動きが見られました。また、多くの大学で英語外部試験の活用や国際系学部の新設など、グローバル化への対応が見られました。

【本校生(平成二十九年三月卒業生)の状況】

指定校推薦では、慶應義塾

合格者ができました。私立大学については、早稲田大学一名、慶應大学一名、東京理科大学四名、MARCHが二六名、関関同立二名、合計で五六七名が合格しました。

合格者の傾向として、素直

で謙虚であることが挙げられます。本校では個別面談に力を入れており、担任を中心として盛んに行われています。アドバイスを受けた際、一度は自分の中に取込んで精査し、自己分析をして自分なりに改善していける生徒が伸びたように思います。また「悔いの無いようにやります」「ことができた生徒も多く合格しました。」「下館一高は課題が多く大変だ」という声を耳にしますが、進学校としてはごく一般的な量です。日々の課題を通して継続的に努力することが大切です。さらに部活動に誠実に取り組んだ生徒も伸びたように感じます。また、推薦入試においては、早めにしっかりと準備と対策をした生徒の合格が目立ちました。

【今後の展望】

2018年度入試において、国の入学定員超過抑制の施策による合格者数抑制の継

続が予想されますので注意が必要です。また大学改革の動きの中で、医療系(特に看護)、情報系、心理系の設置が目立っています。他にも、私立大の公立大学法人化、私立大の入学定員増、医学科の期限付き臨時定員増の扱いなど、話題には事欠きません。さらに、センター試験に替わる大学入学共通テストの実施は今の中学3年生からですが、すでに高大接続改革を意識した入試改革も進んでいます。一般入試での面接や小論文の導入、推薦・AO入試の拡大、英語外部試験利用の拡大など、今の高校生も入試改革と無縁ではありません。本校でも先日大学入試センターによる試行調査(プレテスト)を2、3年生の一部が受験しました。これらの変化に対応するため本校では、職員研修などを通じた授業改善に取り組み、電子黒板などの学習環境の整備などを始めています。

各学年の現状

一学年概況

とつとつしています。入学式の時に、「お互いに成長し合える学年にする」と保護者の皆様に約束してスタートしたことが思い出されます。成長のための取り組みとして、最初に実施したのは朝読でした。八時二十五分までに登校し、SHUが始まる四十分まで、一五分間、静かに読書するというのが、一部の中学校でも取り組んでいる活動なので生徒達も当たり前のようになっています。年度当初は二五分に教員が教室に行つて、朝読の指示をしていましたが、今は教員がいなくても自然に取り組むようになるのが、次なる目標です。

もう一つ夏休み以後、学年として取り組み始めたことは新聞スクラップリレーです。本校は地域の新聞販売店の協力により、七社の新聞を無料で頂いております。クラス毎に一社が割り当てられ、毎朝、担任が教室にもって行きます。

これらの新聞を使って、興味ある記事を切り抜き、ノートに貼って意見文を書きます。それをグループでリレーするというのが、特に真新

報 西 紫

しいものではありませんが、今回は道徳や国語の授業とも連動させ、時事問題に興味を持ってもらっただけではなく、表現力や批判的思考力を養おうというわけです。現時点では、とにかく「意見文を書く」経験を積ませることに重点を置いていますが、今後は道徳の授業と連動しながら、批判的に物事を見る練習をしていきたいと思います。

恒例の行事も四月の福島プリティッシュヒルズへ英語宿泊研修を皮切りに、六月の七曜祭、夏休みはカナダ研修、十月には企業訪問と盛りだくさんで実施してきました。A・C活動として、東北大学オーブンキャンパスや八時間耐久学習会も多数の参加がありました。本学年生徒は、積極的に、多くの行事に参加してくれています。前向きな姿勢をそのままに、今後も成長していけるように、学年一丸となって生徒と向き合っていきたいと思っています。

二 学 年 概 況

二 学 年 主 任 海老澤 淳子
『グアム島への修学旅行が出発目前の八月末に中止になっ

たこと。』二年生にとって最も大きな衝撃を受けた出来事でした。八月上旬に、北朝鮮がグアム方面に弾道ミサイルを発射するという挑発に端を発した米朝関係の緊迫化を考慮しての決定でした。入学前から楽しみにしていた生徒も多く、準備も整いつつある時期での中止は、私達教師はもちろん生徒達も無念であったと思います。

修学旅行は、行先を神戸・大阪・京都に変えて二月一七日(日)からの三泊四日行われることになり、先日全日程を終えました。東京駅集合で始まった行程は、『D』での二時間の自由散策や、大阪・京都を中心に各地を巡る班別研修を含めちょっとした冒険でした。知らない場所で、自分で決めて自分で動くという経験は、困惑したことも多かったけれど、得るものも大きかったのではないのでしょうか。クリスマス前で道路が混雑していたり、寒さが想像以上だったり、予定通りにならないことも多かったのですが、改めて生徒達の頼もしさや優しさを感じる達成感のある修学旅行となりました。

さて、これまでもつであつたように、『二年生は修学旅行を終えたら受験生になる』ことが現役合格のための条件です。今年度は二月遅れのスタートとなりました。どんな仕事がしたいのか、大学で何を学びたいのか、まだ決められない生徒が大半です。しかし、学力を高めていくことで一人一人の可能性を広げられるはずです。私達は、学習環境を整え、学習意欲を維持していくことを第一に考え、生徒を応援したいと思っています。

最高学年であり、大学入試に向かって大きなチャレンジをする、ここからの一年は、人生を大きく変える一年です。教師も生徒も目標に向かって、最後まで決して諦めずに挑み続けて行きたいと思っています。

三 学 年 概 況

三 学 年 主 任 深 谷 祐
今年の冬の訪れは早いようです。さて、三年生は二月に入り、ようやく受験の態勢に入りました。入試までの勉強計画がはつきりし、自分のやるべきことが明らかにになると、集中して自習ができるようになります。先輩方はもっ

と早い時期に、集中して自習ができていました。出遅れた三年生のこれからの踏ん張りも期待します。

今年は県知事選と衆議院選挙がありました。選挙権を一八歳に引き下げた最初の選挙でした。館生三年生の高投票率は驚きでした。知事選は有権者一三四名に対して投票率70.9%(期日前投票二四名を含む)、衆院選は有権者一六九名に対してなんと投票率81.6%(期日前投票四三名を含む)に達しました。若い世代の投票率の高さには嬉しいものがあります。

最後になりますが、三年生の現在までの合格状況は以下の通りです。年明けにはセンター試験も控え、生徒はこれから最後の難関に立ち向かいます。ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

進 路 状 況

国 公 立 (十 五 名)

- ・ 県立医療大学 一名
- ・ 宮城教育大 一名
- ・ 茨城大学 三名
- ・ 東北大 一名
- ・ 筑波大学 五名

私 立 大 (十 五 名)

- ・ 群馬大 二名
- ・ 宇都宮大 二名
- ・ 明治大 一名
- ・ 自治医科大 一名
- ・ 共立女子大 一名
- ・ 茨城キリ大 一名
- ・ 東京女子大 一名
- ・ 東京農業大 一名
- ・ 中央大 一名
- ・ 東京家政大 一名
- ・ 明治学院大 一名
- ・ 獨協大 一名
- ・ 法政大 一名
- ・ 立教大 一名
- ・ 慶応義塾大 一名
- ・ 多摩美術大 一名
- ・ 専門学校 (二名)
- ・ 土浦協同病院付属看護専門学校 一名
- ・ 大原簿記情報専門学校 水戸校 一名



カナダ交流



カナダ交流



文化祭

主な大学合格者数

(年度は入試年度です。)

(主な国立大学)

大学名	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度
東北	1	1	1	1	0
山形	5	3	5	5	3
福島	3	5	8	8	3
茨城	20	16	24	23	26
筑波	3	5	5	8	5
宇都宮	17	12	8	10	19
群馬	5	1	8	5	2
埼玉	6	6	5	9	11
千葉	0	1	0	3	7
東京	0	0	0	0	0
一橋	0	1	0	0	0
東京工業	0	1	0	0	0
東京外語	0	0	0	1	0
横浜国立	1	0	1	1	3
その他	5	12	14	7	4
国立大計	66	64	79	81	83

(主な公立大学)

大学名	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度
高崎経済	10	6	16	13	8
県立医療	2	3	2	0	2
首都大東京	1	1	0	0	1
横浜国立	1	1	2	0	1
その他	22	26	56	21	14
公立大計	36	37	76	34	26

(主な私立大学)

大学名	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度
国際医療福祉	10	7	4	12	7
獨協	15	16	10	8	10
文教	13	14	11	21	9
青山学院	0	3	1	3	4
大妻女子	7	5	22	2	4
北里	1	2	3	4	2
慶應	1	5	1	1	2
国際基督教	0	0	0	1	0
駒沢	8	18	8	13	13
芝浦工業	12	10	3	9	15
上智	0	0	1	0	0
専修	7	11	6	13	12
中央	5	8	21	7	7
津田塾	1	1	5	1	2
東京女子	3	0	18	4	3
東京薬科	0	0	1	0	0
東京理科	4	6	4	5	6
東洋	57	48	17	30	33
日本	30	22	27	27	23
日本女子	0	0	10	2	0
法政	13	12	2	6	12
東京都立	4	2	4	5	8
明治	2	11	4	3	6
明治学院	7	10	11	11	10
立教	5	6	1	1	1
早稲田	1	3	5	0	2
その他		363	364	347	305
私立大計		583	564	536	496

進路決定先人数

年度	国公立大	私立大	短期大学	専門学校	就職	未定・他	卒業者数
29	82	162	2	8	5	16	275
28	87	156	4	5	1	18	271
27	102	138	0	7	2	18	267
26	104	147	2	9	2	12	276
25	93	149	0	4	3	25	275
24	106	130	4	13	2	18	273

2018年度大学入試センター試験平均点

科目	英語	リスニング	国語	数学ⅠA	数学ⅡB	世界史B	日本史B	地理B	現代社会
本校平均	124.0	21.7	105.8	58.5	38.5	60.8	60.3	68.5	58.4
全国平均	125.5	23.0	102.4	63.6	54.0	70.1	63.9	70.2	60.3

科目	倫理政経	物理	化学	生物	生物基礎	地学基礎
本校平均	72.7	50.6	47.5	57.9	38	34
全国平均	73.0	63.2	62.1	62.4	36	34

※ 全国平均は
中間発表のものです。

同窓会だより

紫西同窓会総会開催

平成二九年三月二日(日)
紫西同窓会の総会を行いました。

役員改選が話し合われ次表の
ように決定いたしました。

また、本校一〇〇周年記念
事業の流れが話し合われました。
平成二九年度より、編集
員会、資料収集委員会が発足
し準備を始めている最中でご
ざいます。何か、下館一高に
関する資料をお持ちの方は、
学校に連絡ください。

幹事	監事	副会長	会長
中村一三	石上信男	信山克雄	林 廣明
津田むつみ	原 篤範	谷島英一	
(新任)	関 正樹	吉田公哉	

収支決算

項 目	収 入	項 目	支 出
前年度繰越金	10,842,460	餞別	456,000
利息	128	同窓会(支部会)への祝い金	44,270
同窓会入会金	1,925,000	卒業証書ファイル代	206,250
紫西同窓会賛助金	221,924	同窓会総会葉書代等	104,672
		紫西会報代	171,720
		岡田氏への講演会謝礼金	53,000
		次年度への繰越金	11,953,600



山中さんありがとう！
66年間に渡り、本校下館
一高購買部を切り盛りしてく
れた山中艶子さんに對し、花
束贈呈を行いました。今まで、
購買部のおばちゃんとして私
たちを支えてくれてありがとう
ございました。

学年同窓会を行いました！



平成25年度 卒業生

同窓生寄稿

「下館一高の皆さんへ」

田口 裕美子

(第八十九回卒)

下館一高を卒業してから早
五年。私は現在、県立三和高
校の教壇に立っています。教
員一年目を振り返ってみると、
授業、部活動、生徒指導、進
路指導、普段の生徒との何気
ない会話といったあらゆる場

面で、常に「学び」がありま
した。その中でも最も難しい
のが、生徒との関わり方です。
生徒は十人十色で、自分には
ない考えを持っています。そ
の時にどんな言葉をかければ
いいのかというのはとても難
しいことですが、他者理解を
深め、学ぶことができるとい
うのも教員の醍醐味であり、
まさしく共育だと実感しま
した。
さて、そんな私が高校生活

で頑張ったことは部活動です。高校三年間は書道部に所属し、三年の夏には、全国総合文化祭・富山大会へ出場という目標が叶いました。この目標達成までには、もう二度と筆を持ちたなと思うことも多々ありました。全国総合文化祭に出たという一心で、学校から帰宅すると、上幅紙(高さ二メートル)を毎日十枚以上書き続けました。この三年間の努力は私自身の誇りであり、自身の成長を一番に感じた時間でした。

最後に、下館一高生の皆さんはどのような高校生活を送っていますか?月日が経つのも早いもので、私が教育実習の際にお世話になった生徒の皆さんも、三年生として、また受験生として頑張っていることだと思えます。皆さんにはぜひ、「大きな目標」を抱いてほしいと思います。目標は皆さんの高校生活に刺激を与えてくれます。なぜ勉強をするのか、なぜ部活の練習をするのか、その答えは「目標を達成するため」ではありませんか?目標があるからこそ、人は頑張れるのだと思います。皆さんにも大きな目標を持つ

て、そのための努力を惜しまない人になってほしいと期待しています。

「全て自分次第」

篠崎 梓

(第八十九回卒)

「全て自分次第」これは私が学生時代に学び今もモットーにしていることです。この記事を見てくださっている高校生にとって社会人になるのはまだまだ先のこともしれませんがこの記事を読んで何か刺激を与えられたら光栄です。私が下館第一高校に入学したのは二〇一〇年、合格発表の日、私よりも家族が掲示板に貼り出された受験番号を先に見つけて大喜びしてくれたのが懐かしいです。入学してから三年間はあつという間でした。大学進学にあたっては三学年の時に担任であった大吉先生に大変お世話になりました。大学受験で思うような結果が出ずに当初思いもなかった大学に進学するか一年浪人するか悩んだ際に「大学でどう過ごすかは篠崎次第だよ、それはどこの大学に行ってもそうだ。」とアドバイス

充実した学生生活をしよう!」と心に決めて進学することになりました。

大学では与えられた事例に対して法律を用いてディベートをする法律討論大会に出場したり、東北ボランティアで定期的に東北を訪れて都内で行われた警視庁の講演会で約四〇〇人の前で活動報告をしたり、水害により被害にあった大学の復旧ボランティア活動に参加したりと様々な経験をしました。様々な経験を通して様々な業界で活躍されている教授・社長・アナウンサーやお医者さんなどとお会い、今でもありがたいことに連絡を取り交流があります。大学では同世代よりもむしろ上の方々という時間が多かったかもしれません。周りの環境から受ける影響は良くも悪くもとても大きいと思います。でも結局自分次第です。自分の今の場所で頑張るか頑張らないか、楽しむのか楽しまないのか、誰と一緒にいるか、このまま現状維持するのかそれとも新しいことをするのか。今私は銀行で勤務地に制限のない総合職で資産運用(定期預金や投資信託、保

険など)を担当するチームに所属しています。自分がやってみたくてと思った業務を任されてとても嬉しいと思う反面、低金利という時代の中で銀行のお客様に対する責任は重く、いかにお客様のニーズを伺いベストな商品を提案するかがとても重要だと思っています。十月から今の業務を始め、先月から一人で商品の提案から契約を行なっていますが「篠崎さんに運用任せろわ。」とお客様に言われた時の喜びはとても大きくやりがいがあります。仕事が本格的になってきて毎日バタバタして忙しい時こそ「辛い、しんどい」と思うのではなく「この忙しさに感謝し、いっそのこと楽しんだ方がいい。」

と思います。自分の考え方や行動で全て変わると学生時代学んだから・・・頑張るフィードは各々違いますが共に目標に向かって頑張っていきたいと思います。

韓国に留学して

国府田 恵

(第九十一回卒)

通っている大学の交換留学

制度を利用して、二〇一六年八月から二〇一七年二月までの半年間、韓国へ留学した。韓国のグループが好きで、大学で第二言語として韓国語を学び、実際に現地で韓国語を学びたいと思い、韓国への留学を決めた。また、留学は学生のうちでしかなかなかできないと思ったのも理由の一つである。

現在、日韓関係は決して良いとは言えないだろう。また北朝鮮の問題もあり、韓国に対してのイメージを悪く持つ人も多くいるのが事実である。しかし、実際に現地へ暮らししてみると、私が出会った韓国人は親切であった。反日の報道もよく見かけるが、そのようなデモや被害に遭うことはなく、実際の日本での報道とのギャップを感じた。飲食店で私が日本人であるということを知ると、店員さんは日本語で話しかけてくれたり、日本人だからという理由でなにか被害に遭ったりはなかった。反日感情を抱いている韓国人がいるということは事実であると思うが、一部であり、全員が全員反日感情を抱いているとは思えなかった。一部

のことをすべてのことのように捉えてはいけなさと感じた。

また、朴槿恵前大統領の罷免訴追案が採決された日、まさに韓国留学中だった。街のあらゆるところでデモが起り、日本でも報道されていただろう。通っていた大学でも少人数ではあったものの、学生たちが集まり集会をしていた。そこで、韓国の学生の政治に対する関心の高さに感心した。もちろん、デモに対しては交通機関に影響が出たり、暴徒化してしまったりなど、社会的に影響を及ぼすものであるため賛成はできないが、それほど政治に対して意見があるということなのではないだろうか。

韓国に留学して、日本と近い国でありながらも文化の違いを感じたり、報道とのギャップを感じたり、韓国の歴史的な瞬間に立ち会ったりと、なかなか経験できないようなことを経験することができた。この経験を無駄にせず、これから生かしていきたい。



文芸部短歌甲子園優勝おめでとう！

振り向いて君に喜びを言えたなら

鏡は十五の 私をうつす 林 里美

喜びも悲しみさえも とりあえず

母より先に君に言いたい 袖山空大

いのちとは 激動するもの 吠えるもの
喜ぶために生まれてきたの 大幡浅黄文芸部新旧部長に
突撃インタビュー歌人石川啄木のふるさとで
第十二回全国高校生短歌大会
〔短歌甲子園〕が開かれ、下
館一高文芸部は七年ぶり二度
目の優勝を果たした。七年前優勝時の部長である本校文芸
部の顧問増淵絵理先生と現在
の部長林里美部長にインタビュー
を試みた。

☆ 増淵絵理先生

Q 母校の文芸部を率いる今の
心境はいかがですか？

● 母校で教員として所属して

た。

Q 選手として全国大会優勝し
た時の気持ちと監督として優
勝した時の気持ちを聞かせて
ください。● 選手としては、団体戦は心
強い二人がチームにいたので、
正直「優勝しないはずがない」
と最初から思っていました。
二人のうち一人は、中学の時
から私の作品を見てくれてい
た友人です。監督としては経
験もなく、自分自身も精力的
に活動していたわけではなく
趣味程度だったので、どこま
でできるのか全く見当もつき
ませんでした。一緒に顧問を
してくださる薄井先生にお世
話になることや、生徒が積
極的に学ぼうとする姿勢にい
つも救われています。生徒に
はたくさん経験させたいと思
い、全国高校生短歌大会への
参加を促しましたが、しっか
りと経験以上のことを力にし
てきてくれたことがとても嬉
しかったです。自分の優勝以
上に嬉しかったですね。Q 私も最近になって歌を詠み
たくなるのですが、歌を詠む
コツとは一体何ですか？● コツ・・・。私も知りたい
くらいですが、散策しながら作歌、作句していると作りや
すくはあります。あとは作歌、
作句に不必要な経験はないと
思っているの、いろいろな
経験や体験をしつつそのとき
に感じたことを言葉で思い切
り表現するようにしています。
また、高校生の時に短歌だけ
でなく俳句、連歌も学ばせて
いただいたのが短歌に大きく
影響しました。

☆ 林 里美さん

Q まず、優勝おめでとうござ
います。短歌甲子園の決勝戦
に上がった時の気持ちを聞か
せてください。● 決勝の舞台上上がるのが
喜びでもありましたが、緊張
もしていました。ステージに
上がった三人がお互いを信じ
てカバリーしあう気持ちがいい
方向に向かったと思います。

Q 決勝戦で披露した歌は、

「振り向いて君に喜びを言
えたなら 鏡は十五の私を
うつす」ですが、石川啄木
「不来方のお城の草に寝転
びて空に吸われし十五の心」
を意識したのですか？● お題の「喜び」があまり
にも抽象的すぎて戸惑い、
納得のいく歌に仕上がらなかったのが実情です。「喜」
のイメージはすぐには浮か
ばなかったのですが、ステ
ージに上がることも学校で
生活することも全てが喜び
だと思つて歌に思いを込め
ました。石川啄木は偉大な
歌人であり尊敬しています
が、特には意識せず自分た
ちの歌を詠む一心でした。Q 優勝が決まったとき、ど
んな気持ちでしたか？

● 信じられなかったです。

しかし仲間や先生たちの顔
がすぐ目に入り、うれしい
気持ちが湧いてきました。隣にいた二人をはじめ、一
緒に歌を詠んでくれる部員
達をかけたえのない仲間だ
と思い、そんな仲間への感
謝で胸がいっぱいでした。Q 歌を作るきっかけって何
だったんですか？● 文芸部が中学校にはなかつ
たため、部自体に興味をも
ったことが歌に接するよ
うになったきっかけです。
部に入ると短歌俳句の興味
が高まりました。Q 古今和歌集の紀貫之も
「歌とは人々の気持ちとを和
らげるもの」と古今和歌集
の仮名序で述べていますが、林さんにとって歌って何で
すか？● 一言で言えません。自分
の内側を美しく伝える一つ
の手段だと思います。少な
い字数で伝えようと、悩ん
だり言葉を選んだり、自分
の内側のイメージをどう完
成させて伝えていくのか難
しいのですが、歴史のある
魅力のある文芸だと思いま
す。先人たちには遠く及び
ませんが、先人たちも取り
憑かれるように歌を詠んだ
気持ちが少し理解できるよ
うになったと思います。また、素晴らしい歌を期
待しております。どうもあ
りがとうございました！



進路講演会



ブリティッシュヒルズ

学校生活



七曜祭(文化祭)



大学見学



東北大OC



野球応援



クラスマッチ



A C合宿



修学旅行



企業訪問



卒業式



合唱コンクール

部活動報告

全国大会出場

文芸部

☆全国高校生短歌大会 短歌甲子園

大幡浅黄(真岡中)、林里美、大和田圭祐(下館中)、袖山空大(友部中)

放送部

☆全国高等学校総合文化祭アナウンス部門

飯田温子(桃山中)、飯村華帆(明野中)

ライフル部

☆全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

細谷葉里(岩瀬東中)、戸村夏那子(古河第一中)、中島一樹(関城中)

吹奏楽部

☆全国高等学校総合文化祭

茨城県高等学校選抜吹奏楽団

前田ひかり(友部二中)、弓野晃瑞(笠間中)
新井ひなた(下館南中)

関東大会出場

ライフル部

☆関東高等学校ライフル射撃競技大会

細谷葉里(岩瀬東中)、戸村夏那子(古河第一中)

☆関東高等学校ライフル射撃競技選抜大会

大山亜里紗(桜川中)、安達大晟(岩瀬東中)
松本朋美(下館南中)

陸上部

☆関東高等学校陸上競技大会

星野杏佳

☆関東高等学校選抜新人戦大会

宮田祐大

弓道部

☆関東高等学校弓道大会

男子団体

鈴木健之(大和中)、友部麗也(下館西中)、

井坂友弥(桜川中)、飯島悟史(桜川中)

☆関東高等学校弓道個人選手権選抜大会

個人戦

飯島悟史(桜川中)

全国高校野球選手権茨城大会

硬式野球部 夏の大会 3回戦敗退!

春季関東地区高等学校野球茨城県大会でベスト8まで勝ち上がった本校野球部は、シード校として夏の大会に臨んだ。二回戦から登場し、古河一高に7対0で快勝。続いて三回戦では土浦日大と対戦し、試合序盤は善戦したものの、4対13で敗退した。



部活動紹介

硬式野球部

- 1 チーム一丸となり県大会を勝ち抜いて、春の関東大会に出場すること
- 2 三三三
- 3 下館一高グラウンド
- 4 月曜日以外の平日、休日

軟式野球部

- 1 関東大会出場を目標にしています。
- 2 部員九名
- 3 マネージャー二名
- 4 下館一高グラウンド

女子バスケットボール部

- 1 県西地区ベスト三、県大会出場を目標に日々練習に取り組んでいます。
- 2 プレーヤー二名
- 3 マネージャー二名
- 4 月・火・水・金

男子バスケットボール部

- 1 県ベスト八になることを目標に、日々の練習を部員全員で一生懸命頑張っています。
- 2 二年生九人、一年生一三人、マネージャー二人
- 3 体育館

紫西会報

- 1 目標
- 2 人数
- 3 場所
- 4 活動日



サッカー部

- 1 県大会ベスト八以上を目標に、日々の練習から声を出し、全力で取り組んでいます。
- 2 一年生二名
- 3 二年生一八名
- 4 マネージャー四名

バドミントン部

- 1 地区大会優勝、県大会ベスト八
- 2 男子一人
- 3 女子二人
- 4 月・水、金、日

弓道部

- 1 目標 県西大会、県大会での上位入賞。及び関東大会、全国大会などの上位大会への出場。
- 2 部活動人数 二九人
- 3 活動場所 弓道場
- 4 活動日 毎週月・土曜日

空手部

- 1 「克己」をモットーに自分にも試合にも勝てるようがんばります！
- 2 二名
- 3 結城市の道場
- 4 毎週火、土、日曜日



剣道部

- 1 私達は、限られた時間の中で関東大会出場を目指して日々の稽古に励んでいます。
- 2 男子九名、女子二名
- 3 格技場
- 4 平日は、午後六時まで、土日祝日は三時間練習しています。

硬式テニス部

- 1 我々の目標は騎士道精神を貫き、紳士のスポーツであるテニスの神髄を味わう事である
- 2 男一人 女一人
- 3 成田橋下の河川敷、県西公園
- 4 月曜日以外基本あり

ライフル射撃部

- 1 日々の積み重ねをモットーに、夏の全国大会上位入賞を目指しています！
- 2 一四人
- 3 旧定時制給食室、真壁射撃場
- 4 月曜日以外の放課後六時まで



報 陸 上 部

- 会 1 つらい時にお互いの声をかけ合って競技面でも人間としても成長できようとする
- 西 2 三四名
- 紫 3 校内グラウンド、河川敷、県西公園
- 4 月、火、水、木、金、土

柔 道 部

- 1 団体戦関東大会出場 個人戦県大会入賞
- 2 一年生 五人
- 3 格闘場二階
- 4 月曜日から土曜日

男子バレーボール部

- 1 県西大会を優勝、二年連続の県大会ベスト八進出を目標にしています。
- 2 部員七名マネージャー一名
- 3 体育館
- 4 月・水曜日以外

女子バレーボール部

- 1 県西大会で優勝し、県大会でベスト八になることが目標です。
- 2 選手一名
- 3 マネージャー一名
- 4 体育館 月曜日はグラウンド
- 水曜日以外



男子ソフトテニス部

- 1 個人では全員一回戦突破を、団体では県西優勝を目標に、工夫して練習している。
- 2 十人
- 3 プールの隣、校舎東側のテニスコート
- 4 夏季：毎日 冬季：月曜以外（雨の日休み）

女子ソフトテニス部

- 1 私たちの部活では、高い意識を持って練習し、県団体ベスト八を目指しています。
- 2 二年生 五名、一年生二名（計七名）
- 3 下館一高テニスコート
- 4 週七日

水 泳 部

- 1 夏の総体で全員が関東大会に出場すること
- 2 三人
- 3 各自所属するスイミングスクール
- 4 月、火、水、金、土

登 山 部

- 1 夏休みに三千メートル級の山を登る予定です。
- 2 一年生九人、二年生五人
- 3 土曜日、または日曜日の月一〜三回程度山登り。



卓 球 部

- 1 団体戦県大会ベスト八を目標に、限られた時間を有効に使い日々練習に励んでいる。
- 2 二人
- 3 旧定時制給食室
- 4 火曜日・日曜日

ハンドボール部

- 1 全員が初心者からのスタートですが、県大会出場を目標に日々練習に励んでいます。
- 2 十六人
- 3 ハンドコート
- 4 火、金、土日は片方。

英語ディベート部

- 1 創造的な意見を述べるため一つの物事に対して多様な見方ができるようにすること
- 2 五人
- 3 パソコン室、二年四組の教室
- 4 毎週金曜日

ボランティア部

- 1 ひとりでも多くの人に役立てよう、自分たちができることを頑張る。
- 2 四名
- 3 談話室
- 4 毎週月曜日



吹奏楽部

- 1 人々を笑顔にできるような演奏をする。
- 2 二年生十一名 一年生十八名 計二十九名
- 3 音楽室
- 4 平日、土曜日

ストリングオーケストラ部

- 1 春の定期演奏会に向けての練習
- 2 十人
- 3 相談室（平日）と鳳来館（土日）
- 4 平日（月曜を除く）と土日のどちらか

チアリーディング部

- 1 野球部が夏大で最高のプレーができるように全力応援を目標に日々練習に取り組んでいます。
- 2 部員十八名
- 3 体育館ステージ
- 4 火曜日と金曜日

書道部

- 1 茨城県美術展覧会などの作品展に向け、技術の向上と入選を目標に活動しています。
- 2 六名
- 3 特別棟三階図書室
- 4 毎週水曜日



茶道部

- 1 茶道特有の柔らかさやしなやかさを感じ、日本の礼儀やお茶の楽しみ方を学ぶこと。
- 2 二年生七名 一年生十名 計十七名
- 3 茶道室
- 4 毎週火曜日

美術部

- 1 一人一人が楽しく創作活動に取り組み、かつ画力を向上させること
- 2 二年 四名 一年 五名
- 3 特別棟二階西側 突き当たり美術室
- 4 木曜日（木曜日以外は自由参加）

応援団

- 1 野球応援などを通して、沢山の人の力になる。やる気のある熱い男女を応援団に入れる。
- 2 一年一名 二年一名
- 3 体育館もしくは中庭
- 4 火金 野球応援前は毎日

文芸部

- 1 全国短歌甲子園二連覇・俳句甲子園出場を目指して活動しています。
- 2 一年生八名
- 3 談話室
- 4 毎週水曜日



ダンス同好会

- 1 目標コンテストでグランプリ獲得、学校・地域イベントへ積極的に参加、部としての認可。
- 2 二年四名 一年十四名
- 3 プール、紫西会館前
- 4 毎週 火・水・金曜日 イベント・コンテスト前 休日練習あり

生物部

- 1 部員募集中！

理科部

- 1 部員募集中！（今のところ四人数集まっています）

写真部

- 1 関東または全国高校総文祭の県代表として選ばれていること。
- 2 部員数九名。

放送部

- 1 全国大会に向けて発声や番組・原稿の作成をしている。
- 2 二年生八名、一年生七名
- 3 放送室
- 4 平日

軽音楽部

- 1 グループになり曲の練習をしている。
- 2 二年生五名、一年生二名
- 3 部室
- 4 平日

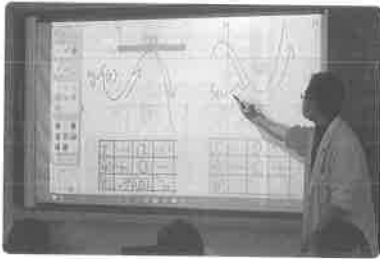


平成二十九年 職員異動

一 退職者
非常勤嘱託員 飛田恒雄

二 転出者
事務長 植田幹夫
(友部特別支援へ)
教諭(国語) 久保田玲子
(古河中等へ)
教諭(国語) 仙波聡美
(下館二高へ)
教諭(社会) 高野良則
(東海高へ)
岡田 実
(結城二高へ)
教諭(理科) 坂入 瑞
(結城一高へ)
教諭(数学) 菊池 嵩
(浦和高へ)
講師(数学) 渡邊理男
(石下紫峰高へ)
講師(英語) 大塚拓也
(八千代高へ)
非常勤講師(社会) 谷島重穂
(結城二高へ)
非常勤講師(美術) 関本啓志
(竹園高へ)
主事 須藤麻里子
(県西農林事務所へ)

三 転入者
事務室長 飯村好明
(鬼怒商より)
教諭(国語) 太田一也
(土浦二高より)
教諭(社会) 斎藤浩二
(等間高より)
教諭(社会) 小沼賢一
(磯原郷英より)
教諭(数学) 渡邊 恵
(古河一高より)
教諭(英語) 廣岡大介
(緑岡高より)
再任用(国語) 柴山希一
(新規則採用)
教諭(数学) 安達綾香
(新規則採用)
非常勤講師(数学) 中島鉄郎
非常勤講師(美術) 館野 弘
主事 篠原捺姫
(新規採用)
非常勤嘱託員 飯塚房雄
主事(期限付) 栗原直美



平成二十九年 同窓会幹事

一組	伊澤 知里
二組	小林 美悠
三組	海老原 巧
四組	小野澤 一樹
五組	稲見 斗馬
六組	田澤 佑奈
七組	草間 大輝
	比 氣 梓
	高田竜之介
	物 井 駿
	佐藤 宏紀
	廣瀬明日香
	佐 山 樹
	中村 響基

編集後記

紫西会報の担当にまた戻り、原稿の紙面をどうしようか、誰に原稿を依頼しようか、かなり思案した。思案して考えた時に教え子の活躍と文芸部の活躍をメインに紙面を作ろうと考えた。

一二年も勤務すると教え子が増えて学校に近況報告するものも多く、原稿の依頼を教え子に依頼しようと考えた。教員採用試験に受かった卒業生もいるし、大学時代で様々な経験をしている卒業生もいる。現在大学三年生の生徒は韓国に半年行って留学していたらしい。海外に行くなんてすごいことである。異文化に慣れない私だったらとても無理である。まして、きな臭い隣国の韓国である。私自身民族主義的な一面もあり、報道を聞く限り隣国には感心しなかった。ただ、卒業生の原稿を読んで大分報道されることと実際は違ふのだと思った。グローバル化を推し進める本校にとって、私自身ももっと異文化理解に努めなくてはならないと感じている。

次に文芸部である。文芸部

の短歌甲子園大会全国優勝は素晴らしい。歌を詠むなんて私には到底不可能である。それも即席であり、みんなが見ている場で披露するのである。文芸部の部員が作った歌を詠むことも真似できない素晴らしい感性で読まれている。「いのちとは激動するもの 吠えるもの 喜びのために生まれてきたの」大幡浅黄さんの歌であるが、高校生ならではの瑞々しい感性で詠まれている。命、それから生きる意味を心の底から表していると感じた。

二年前に育児休業制度を利用して、子育てに専念していた私であるが、子供を連れて近くの自然に散歩するのが日課であった。今まで働いていた時は自然の良さなど全く気づかなかったが、毎日散歩すると変わりがく自然の美しさがよく分かった。近くの公園には、野村紅葉や桂の木、石榴、椎、木栢、板、白木蓮、泰山木いろいろ植わっていて観察すると楽しくなる。そんな自然に毎日子供を連れて散歩すると思わず歌を詠みたくなった。

・春霞 紫たちたる紫峰の山
昔も今も変わらぬ母校
・蜩のもの悲しき鳴き声に
夏の終わりと 悲哀を想つ
・山茶花と満天星のカーテン
に 夜露滴る 晩秋の朝
・見上げると 西日に染まる
鱗雲 寂しさ募る 秋の夕暮れ
・降り注ぐ年の始めの陽光に
新たな気持ち 心に宿らん
・筑波峰の 麓吹き抜く木枯らしに 枝もたわわになる
蜜柑かな
回より文芸部には及びもつかないし、作歌歴もまだ浅い。自然の景色を詠むぐらいしか出来ないが、歌作りをするとき昔からの日本人の生き方にどう寄り添れるような気がしてくる。歌とは本当に魅力的なものである。そんな歌を大切にしたいし、この筑西から歌の文化が広まるとよいと感じている今日この頃である。

大吉 記

編集委員

太田一也 大吉 悟

写真提供

鈴木写真館